

なまえ 名前

やまなしけんりつはくぶつかん 山梨県立博物館には、昔の物がいっぱいあります。立て看板の赤い矢印に従って進み、コーナー番号をヒントに、ワークシートの説明をよく読んで、次の表にある物をさがしてみましょう。

見つけられたら ↓

コーナー番号	次のものをさがしてみましょう。(赤い矢印に沿って行くと見つかります)	○
1	縄文土器 木の实を煮炊きしたり、保存したりするために使いました。	
2	1250年前ごろのお寺の鬼瓦 甲斐国分寺というお寺の屋根についていました。	
2	甲斐の国のはんこ 今から1300年前ごろ、正式な文書に押されました。	
2	木簡(木の札) 紙が貴重品だった時代は、木に字を書いて荷札に使いました。	
3	1500年前ごろの鎧・兜 偉い人の墓から鉄の鎧や兜などが出土しました。	
3	1600年前ごろの馬の歯 馬は中国から伝わり、ポニーのような大きさでした。	
4	700年前ごろの堤防 檜の木を編み合わせ、土手が削られるのを防ぎました。	
4	お祭りで使う人形 洪水が来ないようにお祈りするお祭りで使われます。	
6	武田信玄の肖像画 晴信と名乗っていた、若き日の信玄本人の肖像画です。	
6	楯無鎧 武田家の家宝の鎧で、菅田天神社の本物は国宝に指定されています。	
6	孫子の旗 風林火山の旗とも呼ばれます。信玄本陣の旗印として用いられました。	
6	川中島の合戦の屏風絵 有名な信玄、謙信の一騎打ちをさがしてみましょう。	
7	米俵 米俵1俵は約60kgです。大人5ヶ月分のお米が入っていました。	
8	中国の昔のお金 400年前程までは日本でも中国のお金が使われていました。	
9	幕絵 甲府の城下町の道祖神祭りの時、祭りを華やかにするために使われました。	
11	甲府駅のフラットホーム 木造でした。「かふふ」とは何でしょう?	
11	機関車の写真 中央線が開通したころは、煙をはく蒸気機関車でした。	
12	甲州金 信玄の時代に金山の開発が進み、甲州金という金貨が造られました。	
12	大きな鋸 チェーンソーがない時代、大きな鋸で大木を切り出しました。	
15	馬のわらじ 稲わらを編んで作ったぞうりのようなもので、雪道ではかせました。	
15	道祖神 村境や道を災いから守る神様です。小正月にはお祭りが行われます。	
16	甲府城下絵図 全国的にも大規模な城で、別名「舞鶴城」とも呼ばれていました。	
16	甲府城の金の鯨瓦 甲府城の城跡から発掘されました。	
17	絹糸 「蚕」という蛾の幼虫が蛹になる時に作る繭から糸を取り出し作ります。	
19	蓄音機 今のCDプレーヤーのような音楽をかける機械です。	
19	洪水の時、避難に使った舟 水害に備えて屋根の下に舟をつるした家もありました。	
20	戦争時代の爆弾 66年前、日本とアメリカが戦争をした時、アメリカ軍の飛行機が日本全国(山梨にも)に「焼夷弾」という火事を起こさせる爆弾を落としました。	
20	戦争時代の学校の机・椅子 今の机・椅子と比べてみましょう。	
保存	お蔵 家の宝物などを火事や泥棒、光や熱から守るための、厚い土壁の建物です。	
重さ	繭 「蚕」という蛾の幼虫が糸をはいて作る白い殻のような物で絹の原料です。	
問題は全部で30問です。いくつ、自分で見つけられたかな? →		